

道徳的価値を主体的に捉え、自己の生き方について考えをもつことができる児童の育成

—道徳的な問題を自分事として捉え、進んで考えを伝え合う活動を通して—

特別研修員 道徳 阿久澤 澪(小学校教諭)

教師の願い

- ・道徳的な問題を主体的に捉えてほしい。
- ・自分事として捉え、自己の生き方についての考えをもつてほしい。



児童の実態

- ・道徳的な問題を自分事として捉えることが難しい。
- ・関心がない事柄に対して自分の思いを表現することに課題が見られる。

授業実践

主題名 きまりを生むもの 内容項目C-(12)規則の尊重 教材名「心の優先席」(出典:「ゆたかな心」光村書院)

導入 問題意識

【手立て1】 道徳的な問題を自分事として捉える活動の工夫

アンケートと心情メーターの結果から道徳的な問題を自分事として捉える活動を行う。

アンケート結果
①きまりを守れなかったことは？



二つのアンケートを比較し、道徳的な問題について考えるきっかけをつくる。

心情メーターの結果



多様な考えに触れる



青色の人が多くけど、赤い色の人に理由を聞いてみたい!どうして?

これまで守れなかったから、赤い色を多くしたよ。

どうして青い色が少しあるの?

守れる時もあるから少し残したよ。他の人の考えも聞いてみたいな。



自分事として捉える

【手立て2】 進んで考えを伝え合う活動の工夫

ICT機器を活用して立場や気持ちを可視化する。話し合いの相手を決めて交流する。

【他者理解】



やっぱり、きまりは必要だから青色かな...

全体共有



青色と黄色の人が思ったより少ないな。なんでそう思ったか、理由を聞いてみよう。

| | | | | |
|-------------------|--------------------|----------------------------|--------------------|----------------------------|
| ゆずりたいと思う人がせきをゆずる。 | 近くにすわっている人がせきをゆずる。 | きまりだから、優先席にすわっている人がせきをゆずる。 | 近くにすわっている人がせきをゆずる。 | きまりだから、優先席にすわっている人がせきをゆずる。 |
| ゆずりたいと思う人がせきをゆずる。 | 近くにすわっている人がせきをゆずる。 | きまりだから、優先席にすわっている人がせきをゆずる。 | 近くにすわっている人がせきをゆずる。 | きまりだから、優先席にすわっている人がせきをゆずる。 |
| ゆずりたいと思う人がせきをゆずる。 | 近くにすわっている人がせきをゆずる。 | きまりだから、優先席にすわっている人がせきをゆずる。 | 近くにすわっている人がせきをゆずる。 | きまりだから、優先席にすわっている人がせきをゆずる。 |

交流活動

おばあさんが大変だから、近くにいる人が席をゆずったほうがいいと思うな。

でも、ゆずりたい人が席から遠かったらどうする?

えー、ゆずってくれると思う。

なんでそう思ったの?



展開 交流

終末 振り返り

手立て1で活用した心情メーターに再び取り組む

再び自己と向き合う時間を確保する。振り返りでこれまでの自分とこれからの自分について考える。



【価値理解】

心情メーターに取り組む(1回目と比較)

これまできまりを守っていたけど、もっと守ったほうがいいよなあ...



友達の考えを聞いて、少し自分の気持ちが変わったなあ...



これまできまりを守れない時もあったけど、みんなが安心して過ごすためにきまりがあることが分かった。これからはきまりを守って生活していきたいな。

自己の生き方について考えをもつ児童の振り返り

道徳的な成長の実感

目指す児童像

道徳的価値を主体的に捉え、自己の生き方について考えをもつことができる児童

成果

- 導入と終末に心情メーターを扱うことで、道徳的価値に対する考えの変化や、心情メーターをどこまで動かそうか迷う児童が多く見られ、道徳的な問題を自分事として捉えることができた。
- 意見交流の場面で、自分の立場をICT機器を活用して可視化したことにより、全員の立場が視覚的に分かったため、話し合いの相手を見極めながら、進んで自分の考えを伝えることができた。

課題

- 伝え合う活動の時間に、進んで自分の考えを伝えることはできたが、対話をつなげたり、広げたりすることを意識した問い掛けが必要になる。伝え合う時の視点を明確にすることで、より活発な意見交流の時間になる。